



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月11日

上場会社名 能美防災株式会社

上場取引所 東

コード番号 6744 URL <https://www.nohmi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村 武士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部担当 (氏名) 小野 泰弘

TEL 03-3265-0214

定時株主総会開催予定日 2022年6月28日

配当支払開始予定日

2022年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 112,913 | 4.6 | 12,633 | 14.3 | 13,155 | 14.4 | 9,351 | 22.7 |
| 2021年3月期 | 107,897 | 8.0 | 11,053 | 27.0 | 11,494 | 25.6 | 7,620 | 27.5 |

(注) 包括利益 2022年3月期 9,892百万円 (16.5%) 2021年3月期 8,488百万円 (17.4%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 155.07 | | 8.8 | 9.1 | 11.2 |
| 2021年3月期 | 126.38 | | 7.7 | 8.3 | 10.2 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 286百万円 2021年3月期 216百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 148,599 | 111,891 | 74.2 | 1,827.92 |
| 2021年3月期 | 139,875 | 104,122 | 73.3 | 1,700.87 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 110,250百万円 2021年3月期 102,560百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 3,559 | 4,874 | 2,293 | 47,507 |
| 2021年3月期 | 15,829 | 4,343 | 2,234 | 50,959 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年3月期 | | 16.50 | | 16.50 | 33.00 | 1,993 | 26.1 | 2.0 |
| 2022年3月期 | | 18.00 | | 18.00 | 36.00 | 2,175 | 23.2 | 2.1 |
| 2023年3月期(予想) | | 20.00 | | 20.00 | 40.00 | | 33.7 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 44,600 | 10.8 | 1,400 | 69.8 | 1,500 | 69.4 | 950 | 71.8 | 15.75 |
| 通期 | 111,000 | 1.7 | 10,100 | 20.1 | 10,400 | 20.9 | 7,150 | 23.5 | 118.57 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期 | 60,832,771 株 | 2021年3月期 | 60,832,771 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 517,921 株 | 2021年3月期 | 533,785 株 |
| 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 60,303,275 株 | 2021年3月期 | 60,299,069 株 |

(参考)個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|--------|------|--------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 89,907 | 9.0 | 10,083 | 24.6 | 10,675 | 24.3 | 7,734 | 33.7 |
| 2021年3月期 | 82,513 | 8.3 | 8,090 | 30.8 | 8,585 | 29.3 | 5,782 | 32.0 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 128.00 | |
| 2021年3月期 | 95.71 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|---------|---|--------|---|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | | |
| 2022年3月期 | 122,676 | | 88,295 | | 72.0 | 1,461.19 | | |
| 2021年3月期 | 114,257 | | 82,714 | | 72.4 | 1,368.94 | | |

(参考) 自己資本 2022年3月期 88,295百万円 2021年3月期 82,714百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 第2四半期(累計) | 33,800 | 14.3 | 1,600 | 64.5 | 1,150 | 64.3 | 19.03 | |
| 通期 | 84,700 | 5.8 | 8,350 | 21.8 | 5,900 | 23.7 | 97.64 | |

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| (製品別売上高、受注高及び受注残高明細表) | 18 |
| 4. その他 | 19 |
| 役員の異動 | 19 |

1. 経営成績等の概況

当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、前年同期比較は基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いております。詳細につきましては、「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ワクチン接種の進展や各種政策の効果等により持ち直しの動きがみられたものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当防災業界におきましても、企業収益や民間設備投資に回復傾向がみられたものの、部品の供給制約や原材料価格の上昇の影響などにより、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況にあります。当社グループは2019年度から3年間にわたる中期経営計画「project2021～強靱な「現場力」の構築～」を策定しており、以下のビジョンと重点方針のもと、変化し続ける安全・安心ニーズを的確に捉えて迅速に対応し、飛躍的な成長へ結びつけるための基盤づくりに取り組んでまいりました。

○ビジョン

強靱な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

○重点方針

- ①人財力の向上
- ②事業構想力・遂行力／オペレーションの精度とスピードの向上
- ③グループ経営の強化

中期経営計画の最終年度として、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら事業活動を展開してきた結果、当連結会計年度の受注高は110,948百万円（前年同期比2.1%減）、売上高は112,913百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

利益につきましては、比較的採算性の高い案件が集中したことなどから、営業利益は12,633百万円（前年同期比14.3%増）、経常利益は13,155百万円（前年同期比14.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は9,351百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は42,036百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は8,617百万円（前年同期比44.1%増）、消火設備につきましては、売上高は39,647百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は7,197百万円（前年同期比9.6%増）、保守点検等につきましては、売上高は26,299百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は4,854百万円（前年同期比10.0%減）、その他につきましては、売上高は4,929百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は46百万円（前年同期比81.6%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ8,724百万円増加し、148,599百万円となりました。これは、未成工事支出金が3,523百万円減少、現金及び預金が3,386百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が11,457百万円増加、ソフトウェアが1,046百万円増加、建物及び構築物が1,029百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末と比べ955百万円増加し、36,708百万円となりました。これは、未払法人税等が1,042百万円増加したことなどによります。

純資産は、利益剰余金の増加を主因として、前連結会計年度末と比べ7,769百万円増加し、111,891百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3,452百万円の減少となり、47,507百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権及び契約資産の増加額8,342百万円、法人税等の支払額3,107百万円等による流出があったものの、税金等調整前当期純利益13,155百万円、減価償却費2,333百万円等により、営業活動全体では3,559百万円の流入（前連結会計年度は15,829百万円の流入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に固定資産の取得による支出により4,874百万円の流出（前連結会計年度は4,343百万円の流出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払いにより2,293百万円の流出（前連結会計年度は2,234百万円の流出）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として見通せず、不透明な状況が続くものと見込まれます。

当防災業界におきましても、部品の供給制約や原材料価格の上昇などが及ぼす影響について注視していく必要があります。

このような状況のなか、当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028～期待の先をカタチに～」として策定いたしました。各種の取り組みを2022年度から始め、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦してまいります。

上記を踏まえ、2023年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は111,000百万円、営業利益は10,100百万円、経常利益は10,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は7,150百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、長期にわたり安定した配当を実施することを基本とし、将来の事業展開に備え財務体質の強化を図るとともに、配当性向などを総合的に勘案しながら実施してまいります。

この方針のもと、2022年度を初年度とする「中長期ビジョン2028～期待の先をカタチに～」の促進を図るとともに、2024年度までに連結配当性向を40%とすることを目標に掲げ、安定的かつ継続的な株主還元の充実を目指してまいります。

当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり18円とする予定であります。これにより、当期における1株当たり配当金は、中間配当金18円をすでに実施しておりますので、年間36円となる予定であります。

また、次期の配当金につきましては、上記を踏まえ、中間、期末ともに1株当たり20円の年間40円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 52,049 | 48,663 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,533 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 48,991 |
| 商品及び製品 | 2,805 | 2,943 |
| 仕掛品 | 1,154 | 1,011 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,467 | 5,289 |
| 未成工事支出金 | 3,523 | — |
| その他 | 779 | 865 |
| 貸倒引当金 | △370 | △540 |
| 流動資産合計 | 101,944 | 107,225 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,934 | 9,963 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 794 | 628 |
| 土地 | 7,066 | 7,081 |
| 建設仮勘定 | 2,792 | 3,050 |
| その他（純額） | 2,058 | 2,175 |
| 有形固定資産合計 | 21,646 | 22,900 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,872 | 2,919 |
| のれん | 20 | 8 |
| その他 | 69 | 68 |
| 無形固定資産合計 | 1,961 | 2,996 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,583 | 7,314 |
| 長期貸付金 | 2 | 1 |
| 退職給付に係る資産 | 33 | 47 |
| 繰延税金資産 | 5,171 | 5,385 |
| その他 | 2,600 | 2,789 |
| 貸倒引当金 | △69 | △61 |
| 投資その他の資産合計 | 14,322 | 15,476 |
| 固定資産合計 | 37,930 | 41,374 |
| 資産合計 | 139,875 | 148,599 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,799 | 4,359 |
| 電子記録債務 | 4,575 | 5,016 |
| 短期借入金 | 14 | 4 |
| 未払金 | 7,220 | 7,244 |
| 未払法人税等 | 1,571 | 2,613 |
| 未成工事受入金 | 1,985 | — |
| 契約負債 | — | 1,081 |
| 賞与引当金 | 3,358 | 3,610 |
| 製品保証引当金 | 3 | 14 |
| 完成工事補償引当金 | 84 | 82 |
| 工事損失引当金 | 1,082 | 1,286 |
| 資産除去債務 | — | 20 |
| その他 | 2,216 | 2,469 |
| 流動負債合計 | 26,912 | 27,804 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20 | 9 |
| 長期借入金 | 4 | — |
| 役員退職慰労引当金 | 190 | 204 |
| 製品保証引当金 | 233 | 132 |
| 工事履行保証損失引当金 | 203 | 167 |
| 退職給付に係る負債 | 7,485 | 7,431 |
| 資産除去債務 | 116 | 118 |
| その他 | 586 | 840 |
| 固定負債合計 | 8,840 | 8,903 |
| 負債合計 | 35,752 | 36,708 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,302 | 13,302 |
| 資本剰余金 | 12,905 | 12,920 |
| 利益剰余金 | 75,876 | 83,094 |
| 自己株式 | △280 | △272 |
| 株主資本合計 | 101,803 | 109,045 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,076 | 1,032 |
| 為替換算調整勘定 | 334 | 682 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △654 | △509 |
| その他の包括利益累計額合計 | 757 | 1,205 |
| 非支配株主持分 | 1,561 | 1,640 |
| 純資産合計 | 104,122 | 111,891 |
| 負債純資産合計 | 139,875 | 148,599 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 107,897 | 112,913 |
| 売上原価 | 72,770 | 74,151 |
| 売上総利益 | 35,127 | 38,762 |
| 販売費及び一般管理費 | 24,073 | 26,128 |
| 営業利益 | 11,053 | 12,633 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 18 | 22 |
| 受取配当金 | 60 | 72 |
| 持分法による投資利益 | 216 | 286 |
| 為替差益 | 7 | — |
| 受取賃貸料 | 59 | 57 |
| 補助金収入 | 48 | 48 |
| 保険返戻金 | 18 | 14 |
| 保険配当金 | 24 | 15 |
| その他 | 95 | 97 |
| 営業外収益合計 | 549 | 615 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 9 |
| 為替差損 | — | 21 |
| 賃貸費用 | 25 | 26 |
| コミットメントフィー | 45 | 6 |
| その他 | 23 | 30 |
| 営業外費用合計 | 108 | 94 |
| 経常利益 | 11,494 | 13,155 |
| 特別利益 | | |
| 工事履行保証損失引当金戻入額 | — | 36 |
| 固定資産売却益 | — | 14 |
| 投資有価証券売却益 | — | 13 |
| 特別利益合計 | — | 63 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 15 | 36 |
| 減損損失 | — | 25 |
| 投資有価証券評価損 | 367 | 0 |
| 特別損失合計 | 383 | 63 |
| 税金等調整前当期純利益 | 11,111 | 13,155 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,436 | 4,096 |
| 法人税等調整額 | △17 | △208 |
| 法人税等合計 | 3,418 | 3,887 |
| 当期純利益 | 7,692 | 9,267 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△) | 71 | △84 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,620 | 9,351 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 7,692 | 9,267 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 404 | △44 |
| 為替換算調整勘定 | 47 | 524 |
| 退職給付に係る調整額 | 341 | 144 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 795 | 625 |
| 包括利益 | 8,488 | 9,892 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 8,400 | 9,799 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 87 | 92 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|--------|------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,302 | 12,868 | 70,279 | △280 | 96,170 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映 した当期首残高 | 13,302 | 12,868 | 70,279 | △280 | 96,170 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,024 | | △2,024 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 7,620 | | 7,620 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | — |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | — |
| 連結子会社株式の取得 による持分の増減 | | 36 | | | 36 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 36 | 5,596 | △0 | 5,633 |
| 当期末残高 | 13,302 | 12,905 | 75,876 | △280 | 101,803 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 669 | 303 | △995 | △22 | 1,523 | 97,671 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映 した当期首残高 | 669 | 303 | △995 | △22 | 1,523 | 97,671 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △2,024 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 7,620 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | — |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | | — |
| 連結子会社株式の取得 による持分の増減 | | | | | | 36 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 407 | 31 | 341 | 779 | 37 | 817 |
| 当期変動額合計 | 407 | 31 | 341 | 779 | 37 | 6,450 |
| 当期末残高 | 1,076 | 334 | △654 | 757 | 1,561 | 104,122 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|--------|------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 13,302 | 12,905 | 75,876 | △280 | 101,803 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | △48 | | △48 |
| 会計方針の変更を反映 した当期首残高 | 13,302 | 12,905 | 75,827 | △280 | 101,755 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,084 | | △2,084 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 9,351 | | 9,351 |
| 自己株式の取得 | | | | 0 | 0 |
| 自己株式の処分 | | 10 | | 5 | 15 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 5 | | 2 | 7 |
| 連結子会社株式の取得 による持分の増減 | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 15 | 7,266 | 8 | 7,290 |
| 当期末残高 | 13,302 | 12,920 | 83,094 | △272 | 109,045 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 1,076 | 334 | △654 | 757 | 1,561 | 104,122 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | △0 | △48 |
| 会計方針の変更を反映 した当期首残高 | 1,076 | 334 | △654 | 757 | 1,561 | 104,073 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △2,084 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 9,351 |
| 自己株式の取得 | | | | | | 0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 15 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | | 7 |
| 連結子会社株式の取得 による持分の増減 | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △44 | 347 | 144 | 447 | 79 | 527 |
| 当期変動額合計 | △44 | 347 | 144 | 447 | 79 | 7,817 |
| 当期末残高 | 1,032 | 682 | △509 | 1,205 | 1,640 | 111,891 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 11,111 | 13,155 |
| 減価償却費 | 2,208 | 2,333 |
| 減損損失 | — | 25 |
| のれん償却額 | 11 | 11 |
| 株式報酬費用 | — | 5 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △21 | 150 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 69 | 152 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 19 | 14 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △147 | 242 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | 38 | △89 |
| 完成工事補償引当金の増減額 (△は減少) | 27 | △1 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 203 | 462 |
| 工事履行保証損失引当金の増減額 (△は減少) | — | △36 |
| 受取利息及び受取配当金 | △79 | △94 |
| 保険返戻金 | △18 | △14 |
| 支払利息 | 14 | 9 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △216 | △286 |
| 固定資産処分損益 (△は益) | 15 | 22 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 367 | 0 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △10 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 6,627 | — |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | — | △8,342 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 2,125 | △591 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 179 | △231 |
| 未成工事受入金の増減額 (△は減少) | △1,532 | — |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | — | △250 |
| その他 | △547 | △62 |
| 小計 | 20,457 | 6,574 |
| 利息及び配当金の受取額 | 78 | 101 |
| 利息の支払額 | △14 | △9 |
| 法人税等の支払額 | △4,691 | △3,107 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 15,829 | 3,559 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | 5 | △54 |
| 長期性預金の預入による支出 | — | △90 |
| 長期性預金の払戻による収入 | — | 90 |
| 固定資産の取得による支出 | △4,228 | △4,194 |
| 固定資産の売却による収入 | 3 | 51 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △224 | △552 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 2 | 46 |
| 貸付金の回収による収入 | 29 | 1 |
| 保険積立金の解約による収入 | 281 | 47 |
| その他 | △211 | △219 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,343 | △4,874 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △18 | △14 |
| 社債の償還による支出 | △61 | △41 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △2 | — |
| 配当金の支払額 | △2,024 | △2,084 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △10 | △13 |
| 自己株式の純増減額 (△は増加) | △0 | 2 |
| その他 | △116 | △142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,234 | △2,293 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 13 | 155 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 9,264 | △3,452 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 41,694 | 50,959 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 50,959 | 47,507 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、工事契約に関して、従来は、工事の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した工事原価が、予想される工事原価の合計に占める割合に基づいて行っております。また、契約の初期段階において、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は197百万円増加し、売上原価は181百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ15百万円増加しております。

当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高が48百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。また、前連結会計年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示し、「未成工事受入金の増減額(△は減少)」は、当連結会計年度より「契約負債の増減額(△は減少)」として表示することとしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、防災事業を中心に事業活動を展開しており、「火災報知設備」、「消火設備」及び「保守点検等」の3つを報告セグメントとしております。

「火災報知設備」は、自動火災報知設備、環境監視システム、防火戸、防排煙設備等の製造販売及び取付工事を行っております。「消火設備」は、各種スプリンクラー設備、泡消火設備、プラント防災設備、トンネル防災設備等の製造販売及び取付工事を行っております。「保守点検等」は各種防災設備に係る保守点検及び補修業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------|
| | 火災報知 設備 | 消火設備 | 保守点検等 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 37,952 | 38,415 | 26,687 | 103,055 | 4,842 | 107,897 | — | 107,897 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 87 | 65 | 0 | 154 | 195 | 349 | △349 | — |
| 計 | 38,039 | 38,481 | 26,688 | 103,209 | 5,038 | 108,247 | △349 | 107,897 |
| セグメント利益 | 5,979 | 6,568 | 5,392 | 17,940 | 253 | 18,194 | △7,140 | 11,053 |
| セグメント資産 | 47,759 | 32,818 | 13,436 | 94,013 | 3,938 | 97,952 | 41,922 | 139,875 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 920 | 222 | 143 | 1,286 | 136 | 1,422 | 749 | 2,171 |
| のれん償却額 | 11 | — | — | 11 | — | 11 | — | 11 |
| 持分法適用会社への 投資額 | — | 2,735 | — | 2,735 | — | 2,735 | — | 2,735 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 2,602 | 541 | 473 | 3,617 | 68 | 3,685 | 820 | 4,506 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△7,140百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額41,922百万円は全社資産であります。
全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の余資運用資金（現金・預金）、長期投資資金（投資有価証券）、管理部門及び研究開発部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額749百万円は全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額820百万円は全社資産の増加額であります。

3 セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸表 計上額 (注) 3 |
|-------------------------------|------------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------|
| | 火災報知 設備 | 消火設備 | 保守点検等 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 一時点で移転される 財又はサービス | 20,242 | 4,324 | 15,266 | 39,832 | 1,929 | 41,762 | — | 41,762 |
| 一定の期間にわたり 移転される 財又はサービス | 21,794 | 35,323 | 11,033 | 68,151 | 3,000 | 71,151 | — | 71,151 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 42,036 | 39,647 | 26,299 | 107,984 | 4,929 | 112,913 | — | 112,913 |
| 外部顧客への売上高 | 42,036 | 39,647 | 26,299 | 107,984 | 4,929 | 112,913 | — | 112,913 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 63 | 68 | 0 | 132 | 190 | 322 | △322 | — |
| 計 | 42,100 | 39,715 | 26,300 | 108,116 | 5,120 | 113,236 | △322 | 112,913 |
| セグメント利益 | 8,617 | 7,197 | 4,854 | 20,668 | 46 | 20,715 | △8,081 | 12,633 |
| セグメント資産 | 46,305 | 42,911 | 13,269 | 102,486 | 4,999 | 107,486 | 41,113 | 148,599 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,006 | 253 | 184 | 1,443 | 173 | 1,616 | 681 | 2,298 |
| のれん償却額 | 11 | — | — | 11 | — | 11 | — | 11 |
| 減損損失 | 25 | — | — | 25 | — | 25 | — | 25 |
| 持分法適用会社への 投資額 | — | 3,035 | — | 3,035 | — | 3,035 | — | 3,035 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 2,729 | 525 | 171 | 3,425 | 49 | 3,474 | 993 | 4,467 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△8,081百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額41,113百万円は全社資産であります。
全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の余資運用資金(現金・預金)、長期投資資金(投資有価証券)、管理部門及び研究開発部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額681百万円は全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額993百万円は全社資産の増加額であります。

3 セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 関連情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------|------------|------|-------|----|-----|----|-----|---------------|
| | 火災報知 設備 | 消火設備 | 保守点検等 | 計 | | | | |
| 減損損失 | 25 | — | — | 25 | — | 25 | — | 25 |

6. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|-------|------------|------|-------|----|-----|----|-----|---------------|
| | 火災報知 設備 | 消火設備 | 保守点検等 | 計 | | | | |
| 当期償却高 | 11 | — | — | 11 | — | 11 | — | 11 |
| 当期末残高 | 20 | — | — | 20 | — | 20 | — | 20 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|-------|------------|------|-------|----|-----|----|-----|---------------|
| | 火災報知 設備 | 消火設備 | 保守点検等 | 計 | | | | |
| 当期償却高 | 11 | — | — | 11 | — | 11 | — | 11 |
| 当期末残高 | 8 | — | — | 8 | — | 8 | — | 8 |

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,700円87銭 | 1,827円92銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 126円38銭 | 155円07銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 7,620 | 9,351 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 7,620 | 9,351 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 60,299,069 | 60,303,275 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(製品別売上高、受注高及び受注残高明細表)

製品別売上高明細表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日 | | 当連結会計年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 | | 増減(△) | |
|--------|--|--------|--|--------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 火災報知設備 | 37,952 | 35.2% | 42,036 | 37.2% | 4,084 | 10.8% |
| 消火設備 | 38,415 | 35.6% | 39,647 | 35.1% | 1,231 | 3.2% |
| 保守点検等 | 26,687 | 24.7% | 26,299 | 23.3% | △387 | △1.5% |
| その他 | 4,842 | 4.5% | 4,929 | 4.4% | 87 | 1.8% |
| 合計 | 107,897 | 100.0% | 112,913 | 100.0% | 5,016 | 4.6% |

製品別受注高明細表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日 | | 当連結会計年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 | | 増減(△) | |
|--------|--|--------|--|--------|---------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 火災報知設備 | 37,466 | 33.1% | 45,169 | 40.7% | 7,702 | 20.6% |
| 消火設備 | 44,469 | 39.2% | 33,163 | 29.9% | △11,305 | △25.4% |
| 保守点検等 | 26,436 | 23.3% | 27,067 | 24.4% | 631 | 2.4% |
| その他 | 4,936 | 4.4% | 5,547 | 5.0% | 611 | 12.4% |
| 合計 | 113,308 | 100.0% | 110,948 | 100.0% | △2,360 | △2.1% |

製品別受注残高明細表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 2021年3月31日現在 | | 当連結会計年度 2022年3月31日現在 | | 増減(△) | |
|--------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 火災報知設備 | 11,243 | 20.1% | 12,550 | 24.9% | 1,306 | 11.6% |
| 消火設備 | 40,187 | 71.7% | 32,080 | 63.6% | △8,106 | △20.2% |
| 保守点検等 | 3,773 | 6.7% | 4,364 | 8.7% | 590 | 15.6% |
| その他 | 840 | 1.5% | 1,409 | 2.8% | 568 | 67.7% |
| 合計 | 56,045 | 100.0% | 50,404 | 100.0% | △5,640 | △10.1% |

4. その他

役員の変動

2022年6月28日付にて、以下の異動を内定いたしました。

①代表者の異動

該当事項はありません。

②新任取締役候補

取締役 常務執行役員 有賀 靖夫 (現 常務執行役員)

③退任予定取締役

取締役 専務執行役員 内山 順 (常任顧問に就任予定)

④新任監査役候補

社外監査役 長濱 晶子 (現 長濱・水野・井上法律事務所 弁護士、大日精化工業株式会社 社外取締役)

⑤退任予定監査役

社外監査役 石井 藤次郎

⑥新任執行役員

執行役員 内匠 一樹 (現 総合企画室長)

⑦その他の異動

取締役 専務執行役員 長谷川 雅弘 (現 取締役 常務執行役員)

【参考】2022年6月28日以降の役員体制（予定）

1. 取締役および監査役

| | |
|---------|---------|
| 代表取締役会長 | 橋 爪 毅 |
| 取締役副会長 | 伊 藤 龍 典 |
| 代表取締役社長 | 岡 村 武 士 |
| 取締役 | 長谷川 雅 弘 |
| 取締役 | 有 賀 靖 夫 |
| 取締役 | 泉 田 達 也 |
| 取締役（社外） | 塩 谷 慎 |
| 取締役（社外） | 石 井 一 郎 |
| 取締役（社外） | 平 野 啓 子 |
| 常勤監査役 | 浅 倉 義 久 |
| 常勤監査役 | 近 藤 弘 |
| 監査役（社外） | 近 藤 和 夫 |
| 監査役（社外） | 高 橋 康 宏 |
| 監査役（社外） | 長 濱 晶 子 |

2. 執行役員

| | |
|--------|---------|
| 専務執行役員 | 長谷川 雅 弘 |
| 常務執行役員 | 有 賀 靖 夫 |
| 常務執行役員 | 原 祐 二 |
| 執行役員 | 三 浦 寿 人 |
| 執行役員 | 池 田 信 也 |
| 執行役員 | 山 本 一 人 |
| 執行役員 | 阿 閉 久 義 |
| 執行役員 | 上吹越 慎 |
| 執行役員 | 踊 恵 支 |
| 執行役員 | 加 藤 良 一 |
| 執行役員 | 中 村 雅 之 |
| 執行役員 | 小 野 泰 弘 |
| 執行役員 | 内 匠 一 樹 |

以 上